

鳥取 家族会だより

【発行者】鳥取県精神障害者家族会連合会

【事務局】〒680-0901 鳥取市江津318-1
鳥取県立精神保健福祉センター内
T E L 0857-21-3031
F A X 0857-21-3034

令和2年度を振り返って

鳥取県精神障害者家族会連合会
会長 濱崎 智照

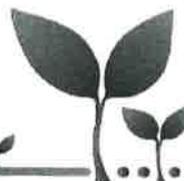
- ★令和2年度鳥取県家連総会・家族会研修会：新型コロナウイルスの影響で開催中止とし、総会は書面決議としました。
- ★精神障がい関係者研修会(当事者の体験発表)：新型コロナウイルスの影響で参集型の研修会は中止し、「鳥取家族会だより88号」に発表者の山松さんの発表内容を掲載して紙上開催としました。
- ★精神障がい者家族相談ダイヤル：毎月第1・第3木曜日に実施。相談研修会も行い、新規相談員育成と現在活動中の相談員の技術向上に努めています。
- ★広報啓発活動：家族会だより4回発行。若者向け精神疾患早期発見啓発リーフレットを県内の高校・大学・専門学校等に配布しました。
- ★要望活動：今年度は訪問が難しいので県への要望活動や交通運賃割引運動は行わず、今後には活かすため、現在の課題や取り組むべき問題について内部の勉強会を随時実施しています。
- ★精神障がい福祉研修会：映画「夜明け前」100年前に精神疾患の人々がおかれた実情を解決しようと奔走した呉秀三氏のドキュメンタリー映画の上映会をしました。

全国精神保健福祉社会連合会(みんなねっと)の総会も、新型コロナウイルスの関係で遠距離移動が必要な会員はZOOMでの参加となりました。また、県家連の理事の方々に県の会議にも参加していただきました。その他の障害者差別解消の関係の意見交換会等にも参加しました。人権的な差別解消や合理的配慮等活動の分野では明るい兆しもありますが、まだまだ納得のいくものではありません。

精神疾患は特別な病気ではなく、誰でもかかりうる病気です。家族・当事者が有意義な意見を言って精神障がい者やその家族が住みよい地域にして安心安全に暮らしていけることが大切です。就労に関しても当事者を受け入れる企業が本当に分かっているのか、常に心配です。他人事ではなく、私たちが変えていくことに意義があるのです。これからも鳥取県家連一丸となり、皆様と共に県とキャッチボールしながら頑張っていきたいと思えます。

当会の活動にご理解ご協力くださった皆様のおかげをもちましてこの1年がありました。関係各位に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

ウィズコロナの関係で、3密、マスク、手洗い、うがい等に気をつけられまして、今後ともよろしくお願い申し上げます。



米子市独自の医療費助成について要望しました

昨年8月7日に家族会すけっとは、伊木米子市長に米子市独自の医療費助成についての要望を直接行いました。この医療費助成は精神科へ受診以外の医療費を自治体が独自に助成する制度であり、鳥取県は1級の精神障がい者への助成はあるが2級以下については各自治体によりばらつきがあり、米子市及び境港市は独自の助成制度がありません。

長年にわたり要望を行い続けて来たこの医療費助成を1本に絞り、話合いの場へと家族4名で向かい、市長へ直接訴えかけました。伊木市長は家族の切実な現状にとても丁寧に耳を傾けてくださったと感じています。そして、その場で来年度予算に向けて前向きに検討いたしますとの言葉を頂くことができました。

その言葉には正直びっくりさせられました。これまで8年にわたり行政や議員への要望を行い、箸にも棒にもかからぬ返答でうやむやに返答されて来ましたが、この前向きな一言は大きな転換になると感じました。

その後、8月28日付けで米子市からの回答を頂くことができました。

【以下原文】

ご要望いただいた「米子市独自の障がい者に係る医療費助成の仕組み」については、他の自治体の助成状況や他の障がい者への助成状況を考慮のうえ、新年度に向け検討したいと考えます。

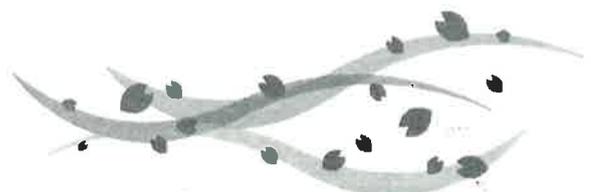
これは大きな風が吹いたと興奮しながら皆さんにお伝えしたのを覚えています。

また、米子市長への要望には境港市のまつば会の秋田さんにも同席頂いており、この米子市の対応をうけ「この流れを境港市でも」という意気込みで、その後境港市議会への陳情と請願など、多くの方の協力を得て働きかけを行いました。その働きもあり境港市も同じく予算化へ向けて動き出すこととなりました。

米子市も境港市も、実際には3月議会での新年度予算の確定までは制度化できるとは言えませんが、大きな期待を持っています。

まだまだ解決しなければいけないことは沢山ありますが、少し明るい兆しであると考えています。

文責：鳥取県家連理事 安達賢



おめでとうございます

令和2年度の精神保健福祉関係の表彰が令和2年9月17日付で行われ、鳥取県家連関係の方々が下記の通り受賞されました。

ここに、皆様のこれまでの精神保健福祉へのご功労に感謝し、併せて心よりお祝い申し上げます。

鳥取県知事表彰(精神保健福祉関係従事者功労)

【個人】 遠藤倭文子 氏 (鳥取県精神障害者家族会連合会 理事)

鳥取県精神保健福祉協会長表彰 ※鳥取県家連関係のみ紹介

【団体】 NPO法人一步の会 佐治ふれあい作業所

【個人】 長谷 妙子 氏 (NPO法人一步の会 佐治ふれあい作業所 サービス管理責任者)

小林 裕美 氏 (社会福祉法人ふなおか福祉会 船岡作業所 所長)

若本 妙子 氏 (NPO法人岩美かたつむり工房 生活支援員)

鳥井 東年 氏 (NPO法人岩美かたつむり工房 生活支援員)

熊田美也子 氏 (八頭ひかる会監事)



団体で受賞された佐治ふれあい作業所さんは、地域に根付いた活動を長年続けられ、特に利用者の活躍の場として始められたミュージックベルの演奏は、今では各所で高く評価されています。

事業所の皆さんからこの度の受章についてのコメントをいただきましたので、ここでご紹介致します。

自分にできることだとは思えず、世界が広がった。

利用者さん

支援員のこざらかす力にまけ、一歩踏み出すことができた。

練習すればなんでもできることを感じた。

みんなの前で表現したことが思い出になった。

練習は厳しかったが、達成感があった。

違う自分を発見できた。

お客さんが喜んでくれたこと。

長谷妙子さん

ただ、ただ皆と一緒に過ごす安心感と、何を言っても許してくれる信頼感に、時に不安を感じることはあるが、ここに、こうして私たちがいることを知ってほしく、地域や各イベントなどに参加し、私たちの存在を知ってほしくてみんなのできるパフォーマンスを考え披露したことを評価してもらえたことを、うれしく思っています。



事業所に飾られた表彰状

お知らせ

☆令和3年度賛助会員募集 ～鳥取県家連の活動をご支援ください～

平素は県家連の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。当会は、一般の方にも賛助会員としてご支援いただき活動の大きな力とさせていただいております。

つきましては、引き続き多くの方に賛助会員としてご入会いただき、当会の活動を支えていただきたくお願い申し上げます。賛助会員の方にはご希望により年に4回発行の本紙をお送りします。

入会申込書は鳥取県家連事務局にごさいます。
申込みは随時受け付けておりますので、皆さまのご協力をよろしく
お願いいたします。

賛助会費(年会費)
個人会員：一口500円



☆「みんなねっと」は全国の家族と家族会をつなぎます！！

♪「月刊みんなねっと」のご紹介

月刊「みんなねっと」は、みんなねっと(全国精神保健福祉会連合会)の賛助会員になると毎月お手元に届きます。精神保健福祉の情報がギュギュッと詰まった一冊です。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

(公社)全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
TEL:(06)6907-9211 Fax:(06)3987-5466



♪ホームページも情報満載！！

みんなねっと(全国精神保健福祉会連合会)の活動をはじめ、国の施策の最新情報、全国の家族会のイベント情報、書籍販売など家族のための情報が盛りだくさん！

メルマガ登録も出来ます。ぜひ一度ご覧になってください。



一人で悩まず
お電話ください。



精神障がい者家族相談ダイヤル 相談専用ダイヤル

090-3880-3498

毎月第1・第3木曜日
(1/1~1/3は除く)
13:00~16:00

★2021年6月までの実施日★

4/1・15 5/6・20
6/3・17

- ・相談は無料です。(通話料は別途かかります。)
- ・秘密は固く守ります。
- ・相談は匿名でもお受けします。

次号に掲載する地域情報をお寄せください。

鳥取県内の各地域で開催する精神保健福祉に関する講演会・研修会・福祉イベントや、単位家族会・各事業所・作業所からのお知らせなどの情報をお寄せください。

なお、紙面に限りがございますので、お寄せいただいた情報がすべて掲載できない場合もあります。ご了承ください。
詳しくは下記の鳥取県家連事務局までご連絡ください。

鳥取県精神障害者家族会連合会事務局

〒680-0901 鳥取市江津318-1
鳥取県立精神保健福祉センター内
Tel 0857-21-3031 Fax 0857-21-3034

2021年7月~9月開催の
講演会・研修会・福祉イベント...



皆さんからの情報をお待ちしています。

編集後記

今年度は、長かったような、あっという間だったような不思議な感覚の一年でした。県家連もコロナの影響を受け思うような活動ができませんでした。一方、一方で離れていてもつながることの大切さ等多くの気づきもありました。

まだまだこの気掛かりな生活は続くと思われませんが、来年度も県家連とこの「家族会だより」をよろしくお願ひ申し上げます。

事務局 岡嶋